

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

東大阪市立布施小学校【指定校】

## 【取組内容】『学び方を学ぶ』子ども主体の学びに向けた初期指導（小学校1年）

### ①学習課題（手引き）を提示

10月28日（月） めあて なつとどこがかわったかかんがえよう。

きょうのゴール  
◎あきになって、かわったところをかんがえることができる。

じゅぎょうのながれ  
①めあてのかくにん  
②あきになって、かわったところを見つける（きょうかしょ・そののけしき）  
③スライドにかわったところをかく。  
④なかまわけをする  
⑤ふりかえり

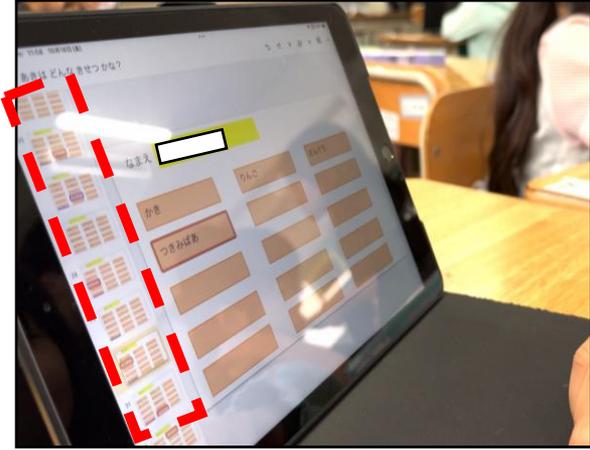


10月28日（月）  
Google スプレッドシート

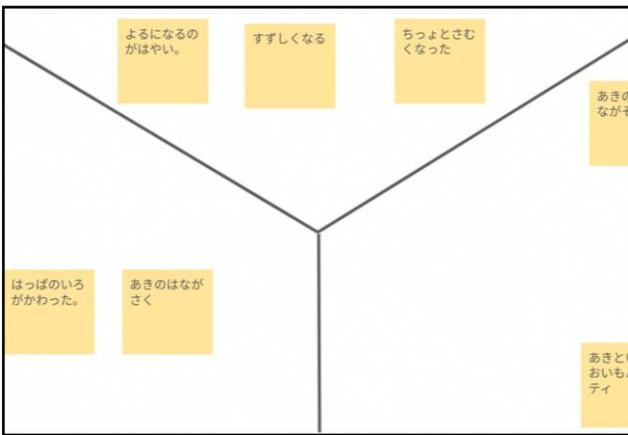
### ②表計算シート（プルダウン）

じぶんのめあて	まなびかた	
		きょうのじゅぎょうで、〇は、～だともいいました。つぎは、〇〇をかんがりたいです。
5つじょう見つける	ひとりでかんがえる	ともだちとかんがえたけどともだち
5つじょう見つける	<b>何を学び、誰と学ぶか</b>	
5つ見つける	ともだちとかんがえる	

### ③他者の考えが参照できる環境



### ④各思考ツールの使い方を学ぶ



- ①学習の流れを提示し、見通しを持たせる。児童が、見通しを持つことで、ゴールまでの道筋を意識するようになる。
- ②1年生はタイピング入力がまだ難しいので、学習の手引きをもとに、『めあて』や『誰と学ぶ』かをプルダウンで選択する。
- ③他者の考えが参照できる環境に慣れる経験を積み上げていく。共同編集する際のルールなども学ぶ。
- ④思考ツールは、自分の考えを『整理・分析』する際に有効なツールである。各思考ツールの使い方を、各教科で丁寧に指導し、使い方を学ぶ。

子どもが主体的に学ぶために、低学年においては、丁寧な初期指導が必要である